

# (お 知 ら せ)



平成20年 1月 9日  
日本原子力発電株式会社

## 敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

### 1. 運転状況について ( 1月 9日現在)

( ) 内は定格電気出力

1号機 沸騰水型 (35万7千kW)	運 転 中
2号機 加圧水型 (116万kW)	平成19年8月26日より 第16回定期検査中 (定期検査の工程表は別紙1のとおり)

### 2. 故障等の状況について (平成19年12月6日～平成20年 1月 9日)

#### (1) 法律に基づく報告事象

な し

#### (2) 安全協定に基づく異常時報告事象

- 敦賀発電所1号機 使用済燃料貯蔵池冷却系プリコートポンプ出口流量計からの水漏れについて

敦賀発電所1号機は、運転中の平成19年11月11日7時59分頃、送電線(275kV敦賀線1号)への落雷が発生した際、プラントの運転への影響はなかったが、所内電源系で瞬時的な電圧低下があったことにより、運転中の使用済燃料貯蔵池冷却系のフィルタ制御装置で「シーケンサ<sup>\*1</sup>異常」警報が発報しました。これにより、運転状態にあった使用済燃料貯蔵池冷却系のポンプBに加え、待機状態にあったプリコートポンプ<sup>\*2</sup>が自動起動しました。

自動起動したプリコートポンプを停止する操作の過程で、10時頃プリコートポンプ出口流量計<sup>\*3</sup>の上部フランジ部分から水が漏れていることを運転員が発見しました。また、同時刻に当該流量計が設置されているエリアの床漏えい警報が発報しました。

このため、当該流量計の出入口弁を閉止し、水漏れを停止しました。

漏えいした水の量は約100リットル程度で、すべて回収しました。

なお、漏えい水の放射能濃度は検出限界値未満で周辺環境への影響はありません。

その後、当該流量計の外観を点検したところ、上部フランジ部に装着されているパッキンの一部が所定の位置からずれており、当該箇所から水が漏れたものと判明しました。

(平成19年12月5日公表済)

当該流量計を取り外し原因を調査した結果、変形等の異常はありませんでしたが、流量計を取付けている出入口配管に最大約19mmの芯ずれ（配管中心軸のずれ）があることを確認しました。この芯ずれにより締め付けていた上部フランジ部では、パッキンの一部に面圧の小さい部分が生じていたと推定されました。

今回の復旧操作でパッキン内面に加わる圧力が変動し、面圧の小さい部分のパッキンが所定の位置からずれ、漏えいが発生したものと推定されました。

対策として、本流量はフィルタ出口流量計により確認できるため、当該流量計を撤去し出入口配管に閉止板を取付けました。

また、同じ型式の流量計が設置されている格納容器内ガス冷却系の冷却水配管については、現在、使用していないことから、流量計を撤去し出入口配管に閉止板を取付けるとともに、復水移送系配管の流量計については、水漏れが発生し難い金属管式流量計に取替えます。

※1 シーケンサ：フィルタ廻りに設置されている弁やプリコートポンプの状態を要求されているモードに合わせて自動的に切替える装置

※2 プリコートポンプ：使用済燃料池の冷却水中に含まれる固形不純物を吸着するために用いるろ過剤をフィルタエレメントに付着させる（プリコート）際に使用するポンプで、フィルタ出口流量が低下した場合にはフィルタに付着しているろ過剤の剥離を防止するために自動起動する。

※3 プリコートポンプ出口流量計：透明なテーパー管を上下からフランジにて締め付けて固定している流量計で、テーパー管とフランジ部との間にはパッキンが装着されている。

（平成19年12月21日公表済）

### （3）保全品質情報等

#### ○敦賀発電所1号機 低圧タービン軸封部フランジからの水の滴下について

敦賀発電所1号機は、運転中の平成19年12月20日11時頃、タービン建屋3階にある低圧タービンNo. 4軸封部\*1のフランジより、3秒に1滴程度の水が滴下していることを、巡視点検中の社員が確認しました。

滴下水の放射能濃度は検出限界値未満であり、本事象によるタービン軸シール機能への影響もありませんでした。

軸封部にはタービン車室内への空気の浸入を防ぐため、軸封用蒸気\*2を供給していることから、この軸封用蒸気が凝縮し、水となってフランジの合わせ面から滴下しているものと推定されました。

現在、当該部に補修剤を塗布し、水の滴下は止まっておりますが、念のため当該箇所付近に監視カメラと仮設放射能モニタを設置し、監視を継続しております。

なお、本事象による周辺環境への影響はありません。

\*1 軸封部：復水器の真空を維持するため、タービンの主軸と車室ケーシングの隙間に蒸気を供給し、空気の浸入を防止している。

\*2 軸封用蒸気：イオン交換樹脂で浄化した復水を加熱し発生させた蒸気。

（平成20年1月9日公表済）

### 3. 敦賀発電所3, 4号機準備工事について（1月9日現在）

#### （1）防波堤・護岸等の構築

今シーズンの海域工事は昨年11月30日に終了しました。再開は本年春頃の予定です。

#### （2）敷地造成工事

背後山地の切取工事を実施するとともに埋立工事を実施しています。

#### 4. その他

##### (1) 発電設備の総点検結果に係る再発防止対策「新行動計画25項目」の実施状況の当社ホームページ掲載について

当社は、敦賀発電所1号機及び2号機、東海第二発電所の発電設備の15件の不適切な事案に対して、昨年5月21日に新行動計画として25項目の再発防止対策を策定しました。現在トップマネジメントのもと安全第一を最優先に、全社一丸となって再発防止対策の実施に取り組んでいます。これらの実施状況について、当社ホームページに下記のとおり掲載しました。

当社ホームページアドレス：<http://www.japc.co.jp/>

掲載欄：発電所の信頼回復に向けて

##### (2) げんでんふれあいギャラリー

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。>

###### 1) 2007 福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀作品展 敦賀展

〔福井県内の小・中学生が、夏休みを中心に取り組んだ理科研究の優秀作品展です。小学生15,253点、中学生9,603点 合計24,856点から選ばれた、小・中学生個人の部最優秀賞(小・中各1点)と団体の部福井県教育委員会賞(小・中各2点)など20点を展示。〕

(1/5~1/13)

###### 2) 第2回八洲学童書展と小作品展

〔敦賀市在住の幸光 八洲治様の書道教室学童の部と、一般の部の書道作品展です。当ギャラリーでの展示は2回目となります。学童の作品を約130点、一般の作品を約20点展示予定です。〕

(1/15~1/27)

###### 3) 第10回「ふるさと大賞」写真コンテスト入賞作品展示会

〔げんでんふれあい福井財団主催による、第10回を迎えた「ふるさと大賞」写真コンテスト入賞作品展です。福井県内在住及び学校・勤務先が福井県内であるアマチュアカメラマンを対象とした写真コンテストです。今年度のテーマは「ふるさと自慢～ふくいの魅力～」で入賞作品を約60点展示予定です。〕

(1/29~2/10)

##### (3) げんでんふれあい福井財団イベント

<福井県内の芸術・文化振興活動として以下の事業を実施します。>

###### ○げんでんふれあいコンサート2007 (3/20)

コロッケコンサート 昼の部 開場 14:00 開演 14:30

夜の部 開場 18:00 開演 18:30

於：敦賀市民文化センター

チケットは、げんでんふれあいギャラリーにて、2/3に販売します。

(昼の部コンサートのチケット販売は10:00～、夜の部コンサートのチケット販売は13:00～)

以 上

# 敦賀発電所2号機第16回定期検査の作業工程

